日本古典文学学術 令和六年度(三〇三四年度)

使用画像/源氏繪卷物

聴講無料 ※要事前申込

2024年

 $\frac{11}{2}$

13:30~17:00 (開場 13:00) 国文学研究資料館 2 階大会議室 (東京都立川市緑町 10-3)

講演会



使用画像/枕草子

講演内容 一

1 『枕草子』と『源氏物語』— かな散文のポエジー— 中西 智子(当館准教授)

2 女房・清少納言の同僚たち片渕 須直(アニメーション映画監督)

主催



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館

「第17回日本古典文学学術賞」授賞式

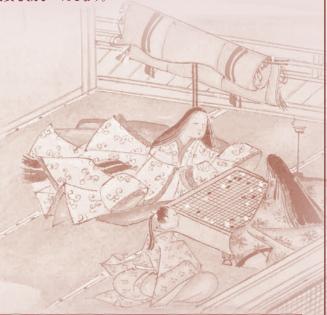
日時: 2024年11月2日(土)13時30分~14時30分

若手日本古典文学研究者の奨励と援助を目的として、財団法人日本古典文学会が主催していた「日本古典文学会賞」を継承し、国文学研究資料館賛助会が運営しています。前年の業績を対象に、受賞者を選考し、賞状及び副賞を授与いたします。

令和6年度(2024年度)国文学研究資料館

「古典の日」講演会

日時:2024年11月2日(土)14時40分~17時 古典が我が国の文化において重要な位置を占め、優れた価値を有していることに 鑑み、国民が広く古典に親しむことを目的として、2012年に、11月1日は「古典の 日」と定められました。『源氏物語』の成立にかかわる記録のうち、最も古い日時 が寛弘5年(1008年)11月1日であることに由来しています。日本古典文学の文 献資料収集と研究を主事業とする国文学研究資料館も、「古典の日」の趣旨に 賛同し、2012年度から記念の講演会を催しております。古典に親しむ絶好の機 会として、大勢の方にお出でいただくことを願っております。



講師紹介-

中西 智子

当館准教授。専門分野は平安時代文学、物語文学で、とくに『源 氏物語』を主な対象に、その生成と受容、表現的連関、和歌の引用 に関する検討を行っている。

著書に『源氏物語 引用とゆらぎ』(新典社、2019)、共編著に『藤原彰子の文化圏と文学世界』(武蔵野書院、2018) がある。

片渕 須直

アニメーション映画監督。日本大学芸術学部特任教授・上席研究員。 2021 年 11 月より当館 AIR に就任。

監督作『マイマイ新子と千年の魔法』(09)、『この世界の片隅に』(16)、『この世界の(さらにいくつもの) 片隅に』(19) などで、膨大な史料から実証的に構成した「その時代とその土地」を描く方法をよる

『この世界の片隅に』では、戦時中を実際に体験した世代から「最も当時の空気を描き出している」と評価された。

現在、この手法を延長して、『枕草子』などの平安時代中期の多数の文献をもとに、疫病と政治的混乱の中に生きた千年前の人々を描く新作『つるばみ色のなぎ子たち』を制作中。

申込方法

事前申込 定員50名(抽選)

申込締切日 2024 年 **10** 月 **21** 日 (月)

- ・お申し込みフォームから締切日までにお申し込みください。
- ・お申込にあたっては以下の情報をご提供いただきます。

①氏名(フリガナ) ②電話番号 ③メールアドレス

- ●なお、お申し込みは、お一人様1回限りとさせていただきます。
- ●同時に複数名でのお申し込みは受け付けられませんので、ご了承ください。
- ●抽選結果は、申込締切後、10 月 25 日 (金) までにメールにてお知らせいたします。 この日を過ぎても結果連絡が届かない場合はお手数ですが、お電話にてご連絡ください (当館からのメールが「迷惑メールフォルダ」等に自動的に振り分けられてしまうこと があります。届かない場合には、一度お確かめください。)。

※この申し込みを通じて得た個人情報は、連絡業務のみに使用させていただきます。

※自然災害による交通機関等への影響が予想される場合は、講演会を中止することがあります。

※賛助会にご入会の方は優先的にご招待いたします。

交通案内 —

電車利用の場合

JR立川駅下車、多摩モノレール立川北駅に乗り換え、高松駅下車、徒歩 10 分

立川バスの場合

- ○JR立川駅北口2番のりば乗車の場合
- ・「立川学術プラザ」バス停下車、徒歩1分
- ・「裁判所前」バス停下車、徒歩5分
- 〇JR立川駅北口1番のりば乗車の場合
- ・「立川市役所」バス停下車、徒歩3分

問い合わせ先



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

電話番号 050-5533-2910

Neb https://www.nijl.ac.jp/

所在地 〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3

E-mail jigyou@nijl.ac.jp

